

平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

1. 事業名

山村・都市をつなぐ「新・木造の家」設計コンペと職人塾

2. 事業実施期間

平成22年6月11日～ 平成23年2月28日

3. 事業主体

特定非営利活動法人 森林をつくろう

4. 事業の成果

本年度は、事業計画をもとに設計コンペと職人塾を開催した。

設計コンペ事業においては、本年度よりさらに都市部への情報発信と多くの市民への関心を高めるため、二次審査にあたる発表者のプレゼンテーションならびに講演会を福岡市内にて開催した。当日は、建築業や林業・木材業関係者の他、一般市民約200名の参加があり、学生の提案する木造住宅の提案と、伝統的建造物の実験や検証に関する鈴木祥之立命館大学教授（設計コンペ審査委員長）の講演を熱心に聞いていただく事ができた。特に、現在都市部においては「環境問題」に対する関心が高く、その一つとして木造住宅や国産の木材利用についても情報を求められる方が非常に多いと言われているが、実際本事業を実施してみても感じる事ができた。工法についても、木造の特性を十分に理解してもらう事ができるような地域特有の木造住宅の技術や材利用の生産体制をしっかりと造り上げ、情報の提供を丁寧に行う事により、さらに多くの方々に関心を持ってもらう事ができる期待を持つ事もできた。本コンペ事業については、次年度第7回目の実施に向け既に準備を行っており、今後も森林保全ならびに地域木造住宅技術の継承とその市場の活性化に繋げられるような事業としていきたい。

職人塾事業では、①現場職人の技術をしる職人塾については、昨年度から法人事業として開始したもので、森林の状況や実際の木造住宅の現場の見学等、他団体等で既に行われている活動内容となってしまった。そこで、会員や本事業実施のためのスタッフとの協議の中で、職人の技術を知ってもらうためには、職人の実際の現場を広く見て知ってもらう事からはじめる必要があるのではないかという意見もあり、住宅施工に関わる林業から製材、住宅施工までの全ての職人の方の作業風景をDVDにおさめて設計コンペ事業やその他のイベントの際に上映する事にした。イベントに参加された方や、このDVDを見てくださった方からは、「あのような伐採の現場を初めて見た」「大工さんがあれほど時間をかけて骨組みを組まれる姿は見た事なかった」などの意見を聞く事ができた。今後は、法人のHP等で動画サイト等を利用して普及に努めていくとともに、次年度以降も職人の方からの意見をもとに事業を継続したい。

次に②伝統構法設計のための職人塾は、本年度より本格的に開始した事業で、本年度は、伝統的建築物の検証を主に講習や現場見学等で行っていく内容とした。次年度以降は計算法や実践等を取り入れながら事業を継続していきたい。

事業内容

○ 「新・木造の家」設計コンペ事業

登録期間 平成 22 年 6 月 20 日～平成 22 年 9 月 22 日

作品募集期間 平成 22 年 8 月 1 日～平成 22 年 9 月 22 日

一次審査 平成 22 年 10 月 2 日

二次審査 平成 22 年 10 月 30 日

○ 現場職人の技術を知る職人塾

検討会議 平成 22 年 7 月～平成 22 年 10 月まで合計 5 回

○ 伝統構法設計のための職人塾

講習会数：全 5 回（講義：3 回 現場見学：2 回）

事業実施写真



プレゼンテーション発表者発表の様子



提出作品の一例



職人塾 講習会の様子



職人塾 現場見学の様子



職人塾 作成 DVD